

茅ヶ崎市保健所管内感染症情報

令和8年第27週（令和8年6月29日～令和8年7月5日）

○手足口病の報告数が増加しています。
手足口病は、感染してから3～5日後に、のどの痛みなどの症状と共に発熱します。熱は38度以下の場合が多く、高熱になることはあまりありません。
発熱から1～2日経つと、手のひら、足の裏、口の中、唇などに2～3ミリの水疱のような発疹が現れます。口の中の発疹が痛むため、食事が十分に摂れなくなることがありますが、通常は1週間から10日ほどで自然に消えていきます。多くは1週間程度で軽快しますが、ごくまれに髄膜炎や脳炎、心筋炎などの合併症を引き起こすことがあります。
感染経路は、患者の咳やくしゃみを吸い込む「飛沫感染」と、破れた水疱や便に含まれるウイルスが手を介して口や目の粘膜に入る「経口・接触感染」です。
感染力は発症してから1週間が最も強いですが、症状が治まった後も、便へのウイルスの排出は2～4週間程度続きます。
感染予防には、マスクの着用と流水と石鹸によるこまめな手洗いが重要です。タオルの共用は避けてください。なお、アルコール消毒は効果的ではありません。

○麻しん（はしか）患者の発生が確認されています。
2026年1月以降、神奈川県内では麻しん患者が49例(令和8年7月2日現在)報告されています。
麻しんウイルスは感染力が強く、空気感染するので、手洗い、マスクのみで予防できません。感染すると10～12日の潜伏期間を経て、発熱、せき、鼻水など風邪のような症状が現れ、2～3日発熱が続いた後に、39℃以上の高熱と全身に赤い発疹が出ます。
麻しんと思われる症状が見られたら、必ず事前に医療機関に連絡し、麻しんの疑いがあることを伝え、医療機関の指示に従い受診しましょう。受診時は、周囲への感染を防ぐために、公共交通機関の利用を避けてください。
感染予防には、ワクチン接種が最も有効です。我が国では、1歳時及び5歳時（小学校入学前の1年間）に定期接種として麻しんの予防接種を行っています。ご自身の予防接種歴をご確認いただき、まだ接種されていない場合は、麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）の接種をご検討ください。

【全数把握対象疾患】

	診断（第27週）（件数）	累計（令和8年第1週以降）（件数）
一類感染症		
二類感染症	結核(2)	結核(8)
三類感染症		
四類感染症	E型肝炎(1)	E型肝炎(1), A型肝炎(1), レジオネラ症(5)
五類感染症		アメーバ赤痢(1), 侵襲性肺炎球菌感染症(3), 水痘（入院例）(1), 梅毒(5), 百日咳(7)

【定点把握対象疾患】

一休診等により報告なし（定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます）

	医療機関	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
小児科	A	0	0	1	0	2	26	0	28	0	2	5	0
	B	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0	0	0
	C	0	0	0	0	1	7	0	16	1	0	4	0
	D	0	0	1	0	0	2	0	5	1	0	0	0
内科	E	2	0										
	F	0	0										
	G	0	0										
合計		2	0	2	0	3	35	2	54	2	2	9	0
定点当たり		0.29	0	0.50	0	0.75	8.75	0.50	13.50	0.50	0.50	2.25	0

	医療機関	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
眼科	H	0	2
	I	0	0
合計		0	2
定点当たり		0	1

茅ヶ崎市保健所管内における上位3疾患

	疾患名	今週	先週
1	手足口病	54	29
2	感染性胃腸炎	35	23
3	ヘルパンギーナ	9	4

【急性呼吸器感染症（ARI）】

	医療機関	急性呼吸器感染症
小児科	A	160
	B	55
	C	96
	D	52
内科	E	42
	F	13
	G	8
合計		426
定点当たり		60.86

【最近4週間の推移】

上段：報告数 下段：定点当たり報告数

	疾病名	24週	25週	26週	27週	前週比
小児科	定点医療機関数	4	4	4	4	
	RSウイルス感染症	0	0	0	2	↑
		0	0	0	0.50	
	咽頭結膜熱	0	0	0	0	→
		0	0	0	0	
	A群溶結性レンサ球菌咽頭炎	5	3	2	3	↑
		1.25	0.75	0.50	0.75	
	感染性胃腸炎	18	34	23	35	↑
		4.50	8.50	5.75	8.75	
	水痘	0	1	2	2	→
		0	0.25	0.50	0.50	
	手足口病	15	16	29	54	↑
		3.75	4.00	7.25	13.50	
	伝染性紅斑	0	0	0	2	↑
		0	0	0	0.50	
	突発性発しん	1	0	3	2	↓
		0.25	0	0.75	0.50	
	ヘルパンギーナ	2	6	4	9	↑
		0.50	1.50	1.00	2.25	
	流行性耳下腺炎	1	0	0	0	→
		0.25	0	0	0	
眼科 定点	定点医療機関数	2	2	2	2	
	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	→
		0	0	0	0	
	流行性角結膜炎	0	1	1	2	↑
		0	0.50	0.50	1.00	
内科 (ARI定点)	定点医療機関数	7	7	7	7	
	インフルエンザ	0	2	0	2	↑
		0	0.29	0	0.29	
	新型コロナウイルス感染症	2	1	1	0	↓
		0.29	0.14	0.14	0	
	急性呼吸器感染症 (ARI)	486	506	454	426	↓
		69.43	72.29	64.86	60.86	

※急性呼吸器感染症 (ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※前週比は、定点当たりの報告数を基に作成しています

一休診等により報告なし（定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます）





